

2年学年通信 9月号

石川県立金沢錦丘高等学校
2年学年団

高校生活後半戦スタート

紫錦祭、おつかれさまでした！ホームや部で創意工夫し、仲間と団結しながら主体的に取り組み、青春時代のかげがえのない思い出ができたことと思います。

さて、9月になりました。新たな学期のスタートであり、高校生活の丁度半分の折り返し地点でもあります。勉学・部活動・生活、あらゆる面で充実した実りの秋を迎えてください。そして3年0学期と呼ばれる2年生1月に備えて、進路実現に向けた学習を計画的・主体的に取り組める準備をはじめましょう。進路に関する様々な行事や、前期新人戦など多くのイベントがあります。人によって目標や大会の時期が違うので、友人に合わせず、自分自身で中長期的な計画をして、実行に移してください。

9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
28	29 紫錦祭準備	30 紫錦祭①	31 紫錦祭②	9/1 生徒代休	2 始業式、 課題試験	3
4	5 後期生徒会役 員立候補受付	6	7	8	9 クリエイティ ブ人材育成事 業講演会	10
11	12	13	14	15 新人大会（前 期）①	16 新人大会（前 期）②、後期ホ ーム役員選出	17 新人大会（前 期）③
18 新人大会（前 期）④	19 敬老の日	20 類型登録（T 生理系）	21 グッドマナー キャンペーン ①	22 グッドマナー キャンペーン ②、後期生徒 会役員選出	23 秋分の日	24
25 創立記念日	26 後期委員会結 成式	27 大学生と語る 会（希望者、 放課後）	28	29	30	10/1
2	3 中間試験①	4 中間試験②	5 中間試験③	6 中間試験④	7	8

今後の予定

10月15日（土）駿台全国模試 ※難関大志望者向け、希望者

18日（火）総合的な探究の時間 中間発表 6～7限

29日（金）～30（土）ベネッセ総合学力テスト ※この模試から5教科

量と質 どっちが大切??

暑い日が続きますが、もうじき芸術の秋がやってきます。タイトルにも書きました「量と質」の話について、美術家「パブロ・ピカソ」を例に挙げて、1つの答えを出したいと思います。



ゲルニカの陶板（大塚国際美術館）

世界的に有名なこの画家は、一生で8万枚もの絵を描いたと言われています。その枚数をこなすには、計算すると10歳ごろから1日も欠かさず3枚の絵を描き続けなければなりません。つまり、【量】を非常に大切にしていたことがわかります。やはり量は大切ですね。

またピカソは、作風がどんどん変化していったことでも有名です。最初は誰が見ても上手な、いわゆる王道の作品を描いていました。次第に線が角ばっていき、歳月を重ねるうちに落書きとも思えるようなシンプルなものを描くようになりました。その結果、様々な要素を凝縮した作風に行きつき、超大作『ゲルニカ』や『泣く女』等の代表作を描くこととなります。この変化は、ただ膨大な量をこなしていただけではなく、常に理想や目標を持ち、それを本気で追求していた結果だとわかります。つまり、【質】も非常に大切にしていたことがわかります。

私たちの現在の生活では、ピカソのように絵だけに熱中することはできません。しかし、限られた時間の中で、1つ1つの活動に対して少しでも多くの量を、少しでも高い質でこなしていく両立は可能です。もちろん、量と質のバランスは、時期によって、或いは学ぶ単元や強化したい技術によって柔軟な変化が必要だと思います。それでも、【量も質も、どちらも100%の力でやる】という姿勢そのものが大切だと考えます。これが私の答えです。

理想は高ければ高いほど達成することは難しいですが、量も質も全力で出し切ることをあきらめなくて1日1日を過ごしてください。上手いかない日や最悪だと思う日があると思いますが、あきらめなければ、きっと誰もが想像しなかった高みに上り詰めているはずですよ。

文章を読んで気持ちが高まった人がいましたら、高2の9月デビューしてみませんか？新たな気持ちで挑戦しようとするみなさんを、2年学年団一同、全力で応援します！

先輩方の経験を、生活に役立てよう

卒業生を招いた2つの行事、9日（金）「クリエイティブ人材育成事業講演会」、27日（火）「大学生と語る会（希望者）」を予定しています。錦丘でたくさんの成功と失敗を繰り返してきた先輩方なので、誰よりも本校の良さを生かした成長方法を知っています。積極的にメモを取るなどして、限られた時間の中でたくさんの情報を持ち帰りましょう。そして、自分なりにアレンジして生活の中に取り入れてみましょう。また、先輩方に積極的に質問することで、今困っていることや悩んでいることの解決の糸口にしてみたいかがでしょうか？